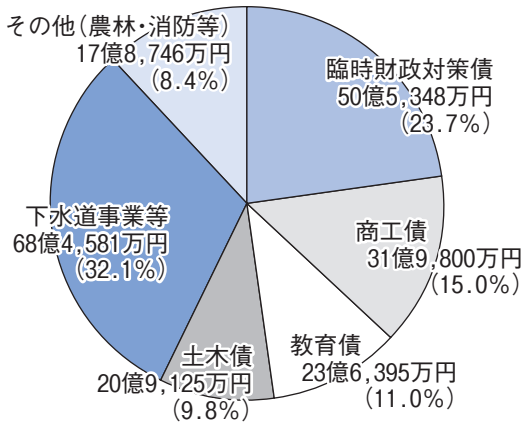


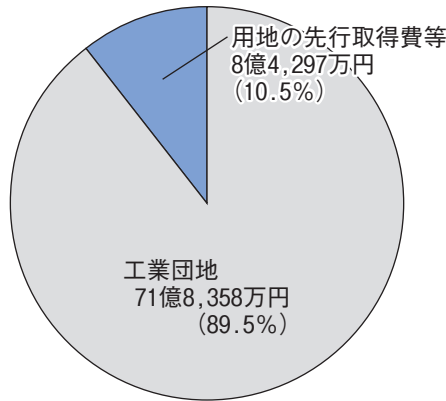
具体的な使い道

財政用語解説

市債残高



債務負担行為残高



臨時財政対策債…国が交付すべきお金を地方が借入金でまかなうこととされたものの。返済した金額は交付税に算入されます。

商工債…工業団地造成などのための借入金。

教育債…学校教育施設の建設などのための借入金。

土木債…道路・橋りょうの改良・新設、公園整備等のための借入金。

下水道事業等…下水道・農業集落排水整備のための借入金。

本宮市の貯金はどのくらいあるの？

基金名	H22末残高
財政調整基金	12億8,972万円
教育施設等整備基金	4億6,347万円
地域福祉基金	4億1,057万円
減債基金	7,543万円
その他	1億7,396万円
合計	24億1,315万円

基金残高は24億1,315万円

基金には、災害が発生したり、経済の急激な変化で税収が減ったりなどといった不測の事態に備えて積み立てている財政調整基金や、教育施設等の耐震化事業など特定の目的のために積み立てている基金があります。

また、平成22年度中は事業完了のため、本宮小学校整備基金、特別導入事業基金を廃止しました。



本宮市の財政は健全なの？

単年度の収支状況だけでは、財政がどのような状態にあるかわかりません。そこで、市の財政運営に関わるすべての要因を含めて判断するために次の4つの指標を算出します。

実質赤字比率 該当なし イエローカード 13.69%

一般会計に赤字額がどれくらいあるかを表します。

本宮市自主的財政健全化計画では18.3%で、計画と同率でした。

連結実質赤字比率 該当なし イエローカード 18.69%

一般会計と特別会計・公営企業会計のすべての会計の赤字額がどれくらいあるかを表します。

昨年度は211.4%でしたので、23.5ポイント下がりました。

実質公債費比率 18.3% イエローカード 25%

市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済に充てた経費がどれくらいあるかを表します。

将来負担比率 187.9% イエローカード 350%

市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済、退職手当などの将来に負担が見込まれる経費がどれくらいあるかを表します。

上記の4つの指標が基準値を上回る場合は、早期健全化団体（イエローカード）、財政再生団体（レッドカード）となります。早期健全化団体になると財政健全化計画を策定し、計画に基づいて健全化を図ることになります。また、財政再生団体になると、再生計画の策定や市債などに対して国の管理下におかれるため、自主的な財政運営ができなくなります。

本宮市では、H22年度決算では4つの指標とも基準を下回りました。しかし、実質公債費比率や将来負担比率については高い数値になっていますので、今後も事業の効率化を図り、できる限り節約して健全な財政運営をします。

このページに関するお問い合わせは財政課財政係（内線232）へ

詳細はホームページでも公表しています。http://www.city.motomiya.lg.jp/

東日本大震災に伴う

浪江町避難者の支援等に関する 協定書締結式が行われました

浪江町役場本宮出張所設置

浪江町から避難している方々の支援などを円滑に行い連携を図るため、東日本大震災に伴う浪江町避難者の支援等に関する協定書締結式が、9月1日、白沢総合支所で行われました。

12日から、白沢総合支所内に浪江町役場本宮出張所を設置



▲握手を交わす高松本宮市長（右）と馬場浪江町長（左）



▲浪江町職員の方たち

◆連絡先

浪江町役場本宮出張所

☎ 44-1185

し、浪江町職員4名が常駐し、市内の仮設住宅などで暮らす市民の窓口として、行政情報の提供などを行っています。
なお、現在市内の浪江町応急仮設住宅は、すべて完成し入居が始まっています。

11月20日（日）は、 福島県議会議員一般選挙 の投票日です

東日本大震災の影響により延期された福島県議会議員一般選挙を実施します。ご家族の有権者の方で、本宮市以外の市町村に避難されている方は、避難先の市町村で不在者投票を行うことができます。積極的に不在者投票制度をご活用ください。

期日前投票所が変更されます。

◆場所／本宮一中体育館 ロビー
（日本宮体育館）
（本宮市本宮字舞台33番地）

※白沢総合支所期日前投票所は、変更ありません。

◆問い合わせ先

本宮市選挙管理委員会事務局
（総務課内 内線217）

非核・平和都市を宣言

平成23年6月17日の市議会で「非核・平和自治体宣言を求める決議」が議決されたことを受け、市では「非核・平和都市」であることの宣言について、9月定例議会で議決を得て、次のとおり宣言しました。

非核・平和都市宣言

世界の恒久平和実現のために、核兵器を廃絶することは人類共通の願いであり、緊急課題である。

核・軍縮を進める気運が高まっている中で、一方では核兵器や軍備の増強が依然として続けられており、世界の平和と人類の生存に大きな脅威をもたらしている。

我が国は、世界唯一の核兵器による被爆国として、核兵器の脅威と今なお続く被爆者の苦しみを訴え、かかる惨禍を再び繰り返させないため、全世界の人々に核兵器の廃絶と軍縮を強く訴えていかなければならない。

よって、本宮市は、日本国憲法の平和主義の精神に基づき、核兵器の廃絶を誓う全世界の人々とともに恒久平和を希求し、「非核・平和都市」であることを宣言する。

平成23年9月12日

本宮市

◆問い合わせ先 総務課（内線211）